

## 令和6年度丹後織物人材育成研修実施要領

- 1 目的 丹後地域の基幹産業である織物製造や関連工程に関わる人材に対して研修を行い、産地の生産体制を維持することを目的とする。
- 2 内容 織物に関する基礎知識や、製造に係る技術や技能を学ぶ16コースを実施する。各コースの概要や実施予定時期は以下の表のとおりとする。
- 3 主催 京都府織物・機械金属振興センター
- 4 対象者 丹後地域の織物製造や関連工程の事業者または関係する事業者、従事する者またはこれから従事しようとする者とする。
- 5 申込等 各コースの申込方法及び定員等は、開講約1カ月前に当センターのホームページ等に掲載する募集案内に示す。

番号	コース名	講師	回数 (予定)	概要	実施時期 (予定)
1	織物基礎	当センター職員	3時間×5回	試験を交えながら、糸の扱い方や織物製造方法を学びます。	4月～5月
2	製織準備【整経】	当センター職員	3時間×4回	部分整経機を使用した整経作業について学びます。	6月
3	製織準備【たて継ぎ(手つなぎ)】	当センター職員	3時間×2回	たて継ぎ(手つなぎ)方法について学びます。	6月
4	製織準備【たて継ぎ(機械つなぎ)】	外部講師 当センター講師	6時間×1回	たて継ぎ機を利用した機械つなぎの方法について学びます。	10月
5	製織【後染織物】	当センター職員	3時間×24回	初心者を対象に、後染織物の製織の準備作業から織機操作についてマンツーマンで学びます。	4月～12月
6	製織【先染織物】	外部講師	3時間×10回	初心者を対象に、先染織物の製織の準備作業から織機操作について学びます。	6月～7月
7	織物組織と紋織技術	外部講師	3時間×16回	織物組織と機拵えの関係を明確にし、紋データ作成の技術を学びます。	7月～9月
8	織物分解	当センター職員	3時間×10回	糸の種類、より数など織物分解に必要な基礎的な手法を学びます。	6月～7月
9	織機調整【小幅基礎】	外部講師	3時間×10回	小幅シャトル織機を使用し、製織に必要な調整方法を学びます。	9月～10月
10	織機調整【広幅基礎】	外部講師	3時間×3回	広幅レピア織機を使用し、製織に必要な調整方法を学びます。	9月
11	新商品開発【縫製】	外部講師	3時間×15回	完成品を目指した縫製に必要な知識、手法について学びます。	7月～9月
12	アパレル CAD	外部講師	3時間×6回	型紙作成に必要な知識とアパレル CAD ソフトの操作方法を学びます。	7月
13	新商品開発【ものづくり&機器活用】	当センター職員	調整のうえ決定	センター保有の機器を使用した新商品開発の手法を学びます。	5月～12月
14	デザイン	当センター職員	3時間×8回	図案作成ソフトを使い、織柄、染色柄、販売促進ツール(パンフレット等)のデザイン手法を学びます。	11月～12月
15	現場実践研修	外部講師 当センター職員	調整のうえ決定	企業からの幅広い要望に応えるために現場に赴き座学、実技研修を実施します。	4月～12月
16	現地セミナー	外部講師 当センター職員	1回	染色・整理加工業者を訪問し、各工程の知識を学びます。	9月